

# 5L 電気保温ポット (家庭用)

## 取扱説明書

「保証書付」保証書は、取扱説明書のP11についております。  
 この度は「電気保温ポット(RM-214H)」をご買い上げいただき誠にありがとうございます。  
 安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。  
 また、本取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。



項目	ページ
●安全上のご注意	1~4
●各部の名称	5-6
●ご使用方法	7-8
●お手入れの方法	9
●保証仕様・故障かな・アフターサービス	10
●保証書/保証規定	11

# 保証書

本書は保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。  
 本製品が保証期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

**<保証規定>**

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、または当社が無料修理をいたします。
- 保証期間中に故障し無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店、または当社に商品をお持ち込みになり、この保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。

次のような場合は、保証期間中でも有償修理になります。

- 本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、文書内容を書き換えられた場合。
- 本保証書のご提示がない場合。(所定記入欄の空欄の場合、販売店の捺印がない場合)

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- ご使用上生じる外観の変化、消耗品等の損傷
- 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地震等による故障または損傷
- 一般家庭用以外(店舗等、業務用としての使用)に使用された場合の故障および修理

お買い上げ後1年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料修理、取扱いいたします。

修理時の修理品をご持参いただく際の送料費用は、保証期間内でもお客様にて負担いただきます。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに限り無料で修理をお約束するものではありません。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

保証書にご記入いただいた個人情報(本保証書記入内容)は、保証期間内の無償修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。それ以外の目的で使用したり、第三者に提供するのは一切ご遠慮ください。

品名・品番	5L電気保温ポット(RM-214H) (家庭用)		
お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より1年以内(保証規定による)		
保証条件	持込修理		
お客様	ご住所	〒	
	お名前		
販売店	お電話	( ) -	
	住所名		
	店名		
	電話		

●お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けるいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品は一般家庭用の製品です。会社事務所、飲食店、食堂、施設等、また不特定多数のご使用に用いては保証の対象外となりますのでご了承ください。

発売元 ROOMMATE ダイアモンドヘッド株式会社  
 〒108-0073 東京都港区三田 2-7-13 T D S 三田ビル7F

輸入元 リンク株式会社 修理受付 070-021-031  
 〒571-0066 大阪府門真市春野町7-5-101 (受付時間 月-土 10:00-12:00 13:00-16:00 祝日除く、当社指定店舗定休日を除く)  
 修理時の修理品をご持参いただく際には修理費用は、保証期間内でもお客様にて負担いただきます。

**愛情点検** 安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

愛情点検	ご確認ください	処置
●コードやさし込みプラグが変形・変色・損傷している。 ●コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。 ●コードがゆるみ電線が露出している。 ●製品にふれるとビリビリ電気を感ずる。 ●他の電線と接触している。	使用しないでください。 製品の販売店にご相談ください。	

## 安全上のご注意

この取扱説明書には、製品を安全にご使用いただくために、守っていただきたい事から示しています。ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しております。それぞれの意味を十分ご理解の上、この取扱説明書をお読みください。これらのマークを意味している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物理的損害の発生が想定される内容を示します。
- 禁止** この図記号はしてはいけない行為(禁止事項)を示します。例 (接触禁止)
- 必須** この図記号は必ずしてはいけない行為を示しています。例 (プラグを抜く)

感電・やけど・火災・故障等を防止するために、ご使用前に本書をよくお読みの上正しくお使いください。

## 警告

- 絶対に分解、修理、改造は行わない(火災、感電、けがの原因)
- 本体を水に浸けたり、水をかけたりしない。流し台など水にぬれた場所に置かない。(感電・ショートの原因)
- 幼児の手の届くところに置かない。子供や取扱に不慣れな方、自分で意思表示ができない人や白痴や操作できない人には使わせない(火傷や感電、けがの原因)
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない(感電の原因)
- コンセントや配線器具の定格を超える使用は、交流100V以外で使わない器具と併用しない。定格15A以上のコンセントを単独で使用する。(たこ足配線などで定格を超えること発熱による火災の原因)

## お手入れの方法

お手入れは必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めた状態から行って下さい。

- ・日常よりこまめにお手入れをしてください。(長期間お手入れをしないと汚れがこびりついて落ちにくくなります)
- ・ご使用により内容物に水あかや白い浮遊物などが付着します。
- ・汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。
- フタ・本体外面 しっかりと絞った布で汚れをふき取る。
- 内容物 ぬれたスポンジ等でふき、水を入れてすすぐ。
- 内フタパッキン 内フタパッキンは消耗品です。フタのすき間から蒸気がもれたら、新しい内フタパッキンと交換(有償)してください。交換の際は、お買い求めの販売店、発売元にご相談下さい。

\*白い浮遊物(ミネラル分の結晶)・乳白色、黒点、紅色などの変色、さび状のはん点(お買い上げ)・ざらつき等衛生上問題ありませんが、こまめにお手入れをしてください。

## 水垢のお手入れ

湯沸かし中の音が大きくなる。お湯の出具合が悪くなる、お湯に白いものが浮くなどの症状が見受けられたときは、以下の手順で水垢を除去してください。

お使いいただく経過に伴い本体内部に白い汚れが付着してきます。これは水に含まれる『ミネラル』成分が固着したものです。これは「水あか」と呼ばれるもので有害ではありません、また製品の異常ではありません。

- ①内容物の「FULL」の目盛まで水を入れて、クエン酸(市販品)を全部出します。約100〜120g入れて混ぜてください。
- ②フタを閉めお湯を沸かしたのち、冷めてから内容物をぬれたスポンジなど約2〜3時間「保温」します。
- ③「給湯プッシュ」ボタンを押して、お湯を全部出します。
- ④抽出されたクエン酸水を捨て、プラグを外して、冷めてから内容物をぬれたスポンジなどでこすります。
- ⑤クエン酸の臭いを取るために、満水目盛りまで水を入れてお湯を沸かします。
- ⑥「給湯」でお湯を全部出します(お湯の通路やポンプ内を通し洗浄します。)
- ⑦残りのお湯を全部出します。

\*長期間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

- ・食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。(変形の原因)
- ・洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・金属たわし・ナイロントわし・化学スプレーなどを使用しないでください。
- ・スプレー(殺虫剤や掃除用など)をかけないで下さい。

## 安全上のご注意

### 注意

- 加熱中、加熱後しばらくは、本体やフタ、注ぎ口周辺に熱いので近づけない。(やけどの原因)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持ち、必ず電源プラグを持って引き抜く(感電・ショート・発火の原因)
- 強い衝撃を与えない(破損・故障・短寿命の原因)
- 落下したり、破損した場合は使用を中止し販売店、発売元にご相談下さい。(保証対象外)

専用電源コード(マグネットプラグ)以外を使用しない。また付属の電源コードを他の機器に転用しない。(発火、故障の原因)

壁や家具の近く(30cm以内)で使わない。(蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因)

ふたを開けるときに蒸気に顔を近づけたり、手を近づけたりして触れない。また使用中、使用後しばらくは高温部がふたに熱い。(やけどの原因)

水のかかるところや、火気の近くでは使用しない。また湿気や水コリの多い場所に置かない。(感電・漏電の原因)

湯を捨てる際は、注ぎ口に手を触れない。(やけどの原因)

使用時以外また長期不在時等は使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。(火災、感電の原因)

お手入れの際は、スイッチを切り電源プラグを抜く。また本体のお手入れの際は使用直後を避け、本体が完全に冷めてからおこなう。(やけど・けがの原因)

## ご使用方法

本製品は空焚き防止機能がついており、異常な加熱状態になった場合、自動で電源が切れます。自動で電源が切れた場合はマグネットプラグを外して、しばらく経ってからご使用下さい。なまぐさマグネットが切れる等が頻繁に発生する場合は使用を中止し販売店、発売、輸入元にご相談下さい。

初めてお使いになる時、長期間お使用にならない場合は、一度湯を沸かし、何度か給湯して残り湯を捨ててからご使用ください。また沸かしはじめはプラスチックや金属などのおいがすることがありますがご使用とともに少なくなります。

### 1 フタを開けます。

- ①の開閉つまみの手前部分を押しながら、
- ②を引き上げふたを開けます。

### 2 別の容器を使い、内容物に水をいれます。

お願い

- ・水道の蛇口から直接水をいれないでください。
- ・本体・表示ランプ部・水位表示部に水をかけないでください。感電や故障の原因になります。

必ず満水目盛「FULL」のラインを超えないでください。入れ過ぎた場合、注ぎ口からお湯がこぼれたり、給湯時に蒸気口より沸とうしたお湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

\*水以外の液体は絶対に入れない(お茶、酒、スープ、牛乳、水等)

### 3 フタを「カチッ」と音がするまで確実にしめます。プッシュロックボタンをOFFにします。

注意 フタが確実にしまっていないと倒したときに熱湯がこぼれて大変危険です。

## 各部の名称

### 表示ランプ

わかす ● 保温 ●

お湯をわかしている時点灯します。保温状態になると点灯します。

### 水位表示部

水位目盛り 給湯位置近く水位が上がるまで注ぎ口から注ぎます。

\*水位表示の目盛りは目安の実際の水量とは異なります。

給湯位置 水位表示部

注意 水、またはお湯が入っていない状態、少ない状態で沸騰しない。(本体内部のプレート部分が熱くなり容器の熱変色、故障の原因)

## ご使用方法

### 4 マグネットプラグをプラグ差込口に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

### 5 通電後「わかす」ランプが点灯し湯沸しを開始します。湯が沸くと「保温」ランプが点灯し自動的に保温状態となります。

わかす ● → ● 保温 ●

水から沸騰するまで満水時 約33〜38分  
 水まで満水する (水温や環境により変わります)

## お湯をそそぐ(給湯プッシュボタン)

### 6 プッシュボタンを「ON」にしてゆっくり給湯プッシュボタンを押します。

プッシュボタンを勢よく押さない。(蒸気口からお湯が噴出する場合があります。)

### プッシュロックボタン

OFF: ボタンがロックされ誤って給湯するのを防ぎます。

ON: ボタンがロック解除され給湯できます。

## ご使用後

必ず残り湯を捨ててください。残り湯を放置すると内容物の変色や腐食の原因になります。

- ①マグネットプラグコードを抜き、フタをはずします。
- ②両手で本体を持ち、湯すて位置の方向から残り湯を捨てます。

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをする恐れがあります。
- ・フタは必ずはずしてお湯を捨ててください。フタがはずれてやけどをする恐れがあります。
- ・またふたに残った残り湯でやけどをする恐れがあります。手などにお湯がかからないように注意してください。
- ・表示ランプやハンドル、プラグ差込口、フタ取付部にお湯がこぼれないように注意してください。
- ・やけどや故障の原因になります。
- ・清潔さを保つため、一日一回は残り湯を捨ててください。清潔さやにおい、変色、水アカ付着の原因になります。

## 安全上のご注意

### 警告

異常な状態のまま使用した場合、火災・感電の原因となります。以下の様な場合は使用を中止し、販売店、発売、輸入元にご相談下さい。

- ・電源プラグ、コードが異常に熱くなる。
- ・電源プラグ、コードを動かすと通電したりしなくなったり、作動が不安定。
- ・異臭がしたり、煙がでる。
- ・本体が変形したり、異常に熱くなる。

使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなる時は、直ちに使用を中止してください。

### 注意

- ・空焚き絶対しない。水が少ない状態、入っていない状態で電源プラグをコンセントに差し込まない。
- ・テーブルが傷つく場合があります。傷つきやすいテーブルの上では使用しない。また本体をテーブルで傷つけない。
- ・周りが囲まれた空間で使用しない。蒸気が天板に当たるといったような場所では使用しない。
- ・ヒーターなどの発熱のそばで使用しない。
- ・熱に弱い食物(ゼリー製のスナック菓子等)の上では使用しない。
- ・使用しないときは内部に残った水を捨てます。
- ・水以外の液体は絶対に入れない(お茶、酒、スープ、牛乳、水等)
- ・給湯時は別の容器から給湯し、直接蛇口から給湯しない。
- ・ポットの内部は清潔さを保つため、一日一回は満水は残り湯を捨ててください。

本製品を業務用などで使用しないでください。(一般家庭用) 本製品は海外ではご使用いたしません。(国内専用)

- ・お湯が少なくなる、注ぐときにお湯が勢よく出ることがありますのでご注意ください。
- ・最後まで湯沸しても、少量の湯が内容物に残ります。空焚き防止のため、異常ではありません。
- ・湯沸かし直後はフタを開けないでください。たくさんの蒸気が出て危険です。
- ・湯沸かし中は給湯しないでください。お湯が飛び散り、やけどをする恐れがあります。
- ・蒸気口をふきんなどでふきがないでください。湯がこぼれ、やけどの恐れがあります。
- ・マグネットプラグを外しても、給湯はできますが、保温機能はありません。
- ・1杯目のお湯は、ぬるくなる場合があります。
- ・注ぐときに本体が回らないように注意してください。お湯がこぼれて、やけどをする恐れがあります。

### プッシュロックボタン

OFF: ボタンがロックされ誤って給湯するのを防ぎます。

ON: ボタンがロック解除され給湯できます。

### フタの必ずしかた

うわぶたを半分開けた状態で外します。

うわぶたを半分開けた状態でピン部を引掛り部分から斜め上方向へ引っ張り外します。

\*構造上フタは取外しにくくなっています。外しにくいのは製品の異常ではありません。

### プッシュロックボタン

OFF: ボタンがロックされ誤って給湯するのを防ぎます。

ON: ボタンがロック解除され給湯できます。

### フル満水目盛り

FULL